



私立大学薬学部学生に対し、自衛隊中央病院見学を実施

自衛隊東京地方協力本部北地域事務所（所長 西尾3陸佐）は11月8日、板橋区内の私立大学薬学部2年生から5年生までの学生13名を対象に、三宿駐屯地に所在する自衛隊中央病院の見学を実施した。

同大学薬学部は6年制で薬剤師を目指す学部であり、病院や薬局など多様な進路を検討する学生に対し、自衛隊の薬剤官の魅力や進路としての可能性を知ってもらうことを目的に、大学及び自衛隊中央病院の協力を得て今回の見学を実施したものである。

今回の大きなポイントとしては、同大学の卒業生で自衛隊中央病院に研修員として勤務している井坂2海尉との懇談の場が設けられたことであり、参加した学生と比較的年齢も近いことから、終始和やかな雰囲気で見交換を実施することができた。

参加した学生からは、「幹部候補生学校での教育内容を知ることができてよかった」「自衛隊病院での薬剤師の役割を具体的に知ることができた」などの感想が寄せられ、大変有意義な見学となった。

北地域事務所は、今後も大学との連携を深め、部隊見学支援や説明会を通じて、自衛隊に対する理解促進と志願者の獲得に努めていく。



板橋区の都立高等学校が実施したインターンシップに協力

自衛隊東京地方協力本部北地域事務所（所長 西尾3陸佐）は11月12日から14日までの3日間、板橋区内に所在する都立高等学校の学生6名を対象にしたインターンシップに協力した。

同校は、全国で初めて「都市防災技術科」を設置して、1年生及び2年生を対象に、防災に関する実技体験（探究防災）に力を入れており、今回のインターンシップでは、12日・13日の2日間については、練馬駐屯地の協力を得て、第1師団の概要説明、基本教練、ロープワーク、体力検定、体験喫食、救急法、史料館見学など多岐にわたる体験を実施することができた。

また、駐屯地司令（柳田陸将補）との懇談も行われ、学生たちは当初緊張しつつも、和やかな雰囲気の中で交流を楽しんでいた。

最終日の14日は朝霞駐屯地において、北地域事務所が計画した部隊見学を実施し、学生たちには駐屯地の雰囲気を感じてもらったことができた。

参加した学生からは、「自衛隊の訓練を体験できて参考になった」「筋肉痛になった」「食事が美味しかった」など率直な感想が寄せられたほか、「来年度、自衛官採用試験を受験したい」といった進路希望につながる声も聞かれた。

北地域事務所は、今後も学校側と連携を深め、学校教育支援や説明会等を通じて、自衛隊に対する理解の一層の深化を図っていく。

